

うちの学校で「環境」を学ぶことになったけど…  
何をあつかえばいいのかな？

**森林には、素材がたくさんあります**  
**森林は、環境教育の場として優れています**  
**ぜひ、子どもたちと森に入ってください**  
**森に入ること、そこから森林環境教育です**

### 森林環境教育とは

「森林内での様々な体験活動を通じて、人々の生活や環境と森林との関係について理解と関心を深める」ことです



### 「生きる力」を育む体験教育としての森林環境教育

自然豊かな森林を環境教育のフィールドとして、自然の不思議を五感で体験し、科学に興味を持ち、自然の中で心を癒し、自己の存在確認をすることは、子どもたちの人間形成に効果的です。

### 生物多様性、緑のダム、地球温暖化防止を知る森林環境教育

森林は、多くの生き物が暮らす生態系の中心です。森林の多面的な機能を理解し、維持・活用することは、循環型社会を構築するのに必要です。このために森林環境教育は期待されています。

### 木材の利用は持続可能な社会の実現に向けた森林環境教育

森林は、二酸化炭素を人為的に吸収する唯一の機能を持っています。さらに、木材を家や家具などに利用することは、炭素を貯蔵することにつながります。こうしたことから、持続可能な社会を確立するために森林環境教育は期待されています。

### 森林環境教育と教科との関連

例えば  
樹木を測定し、含まれている  
炭素(二酸化炭素)量を測定する  
プログラムならば

森林環境教育は森林の多面的機能を学習することから、様々な教科へと発展できます。

- 1 樹木の生長 → 5年理科「植物の生長」を勉強する単元
- 2 森林の効用 → 5年社会「森林の役割」を勉強する単元
- 3 幹周りから断面積を計算 → 6年算数「円の面積」を勉強する単元
- 4 樹木の二酸化炭素吸収 → 6年理科「植物のからだのはたらき」を勉強する単元  
→ 6年社会「人間と環境」を勉強する単元
- 5 樹木の高さを測定 → 6年算数「比と比例」を勉強する単元
- 6 樹木の体積を計算 → 6年算数「量と測定」を勉強する単元

